

石蔵 文信先生のご逝去を悼む

本学会理事の石蔵文信先生は2022年10月3日、前立腺がんのためご逝去されました。

石蔵先生は、日本性差医学・医療学会の前身である性差医療・医学研究会発足時から、性差を考慮した医療の実践に邁進されていました。

石蔵先生の専門は循環器内科ですが、実は、医学部卒業を控えた頃、内科系でありながら瞬時の判断が求められる循環器か、心の病を診る心療内科に進もうか迷ったと言われていました。循環器科医としての臨床の場で、心不全患者から勃起障害などの相談を受ける中、早くから心療内科の領域をも手掛け、2001年には、大学に勤務しつつ、市内の病院で週2回の男性更年期外来を立ち上げられています。

診療の際には、奥様が同伴されることを基本とし、夫婦のありようを観察する中で、夫の言動への不平・不満が女性の心身の不調をもたらす状態を憂い、「夫源病」と命名され、大きな話題を呼びました。

定年後の男性が妻に負担をかけないように率先して料理することをも説き、自らも朝食や昼食づくりを実践しつつ、男性向け料理教室や様々な講演会などを手掛け、2017年に大学を退職後は100回以上こなしていらしたようです。

大学を退職した理由は、「医師である娘を助けるため、孫育てをする」と言われていました。しかし、2020年2月、体調不良がピークに達し、受けた検査で、放射線外科医から「前立腺にがんがあり、骨に転移していますね」とのご託宣を受け、死を覚悟したと言われていました。その後、治療が奏功し、テニスやゴルフも再開されていましたが、2022年8月「体調不良のため、本学会を退会させていただきます」とのご連絡をいただき、心配していた矢先の訃報でした。

性差医療の実践において大きな足跡を残された石蔵先生の死は本当に残念でなりません。

石蔵先生、長きにわたり性差医学・医療の実践と普及にご尽力いただきましたことを心から感謝いたします。

日本性差医学・医療学会理事 天野恵子

最後に日本性差医学・医療学会の会員の皆様に、石蔵文信先生の略歴と著書のご紹介をします。

石蔵文信先生の略歴

1955年京都生まれ。三重大学医学部卒業後、国立循環器病センター医師、大阪厚生年金病院内科医長、大阪警察病院循環器科医長、米国メイヨー・クリニック・リサーチフェロー、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授などを経て、2013年4月から17年3月まで大阪樟蔭女子大学教授、17年4月から大阪大学人間科学研究科未来共創センター招へい教授。

石蔵文信先生の著書（石蔵文信先生の眼科インクラクリニックホームページより）

- 『[とまどう男たちー生き方編](#)』（阪大リーブル）2016/7
- 『[なるほど! 育じい道 お医者さんが実践している孫育て術](#)』（講談社）2016/6
- 『[男の“ええ加減”料理はフライパンひとつ 60歳からの自立飯入門](#)』（講談社）2016/4
- 『[いくつになっても夫婦の性生活がうまくいく秘訣](#)』（スバル社）2015/7
- 『[缶詰で男のもっとええかげん料理](#)』（講談社）2015/10
- 『[なぜ妻は、夫のやることなすこと気に食わないのか エイリアン妻と共生するための15の戦略](#)』（幻冬舎新書）2014/9
- 『[男のええかげん料理](#)』（講談社）2014/6
- 『[57歳からの意識革命 人生を最後まで充実させるために](#)』（双葉新書）2013/10
- 『[日本人が安心して死ねない99の理由](#)』（日本印刷出版株式会社）2012/7
- 『[夫源病](#)』（大阪大学出版会）2011/11
- 『[ここに華咲かそ ラフアンドピース](#)』（日本印刷出版株式会社）2011/1
- 『[下痢・ストレスは腸にくる](#)』（大阪大学出版会）2011/1
- 『[できる男は2食主義](#)』（メディカルトリビューン）2009/7
- 『[女房に捨てられないための中年力](#)』（メディカルトリビューン）2009/1
- 『[男もつらいよ！男性更年期](#)』（ソシム）2007/11
- 『[パンツの中の健康](#)』（双葉社）2004/11
- 『[巨人性うつと阪神性不安](#)』（双葉社）2003/8